

様

---

K-201226A2

# NPO法人 復興支援ネットワーク・フェニックス 活動計画書

2013年度



<http://phoenix-hanabi.jp>

団体名称； 特定非営利活動法人 復興支援ネットワーク・フェニックス  
代表者名； 樋口 勝博 (ひぐち かつひろ)  
所在地； 新潟県長岡市大手通1丁目5番地9  
TEL 0258-36-2537 FAX 0258-36-2538  
資料名； NPO法人 復興支援ネットワーク・フェニックス活動実施計画 2013年度  
文書作成者； NPO法人 復興支援ネットワーク・フェニックス  
作成日時； 平成25年5月9日

## 主 旨 目 的

この法人は、新潟県中越大震災などの自然災害により甚大な被害に遭遇した地域及び住民のために、復興を支援する様々な活動を行い、ネットワークを作り、全国へ向けて伝えることによって、新潟県全体の経済を活気付け、活性化し、観光産業を軸にして、新しいブランドの創設を図り、地域経済の発展に率先して貢献する事を目的とする。

### フェニックス花火のコンセプト

訪れる人にとって魅力的な街であること

それは、子どもたちが誇りをもって暮せる街

そして、創り出せるのは唯一我々大人たちの想いから・・・

平成16年に襲った水害や震災、未だに深く残る爪あと、人口の減少、高齢化が進む中で、この先の街はどうなっていくのか。これからこの街の未来を担っていく子どもたちに我々は何を伝えていけるのか。災害によって傷ついた街や人々の心は、すぐにはもとに戻りません。

「復興したい！」我々の想いは同じです。子どもたちが誇りを持てる街にしたい。

そして、訪れる人にとって魅力的な街を創り、復興ブランドを構築し、それを応援してくださった全国の人達へ感謝の気持ちとして発信していきたいと思っています。

その一つが、2005年長岡で打上げられ、その後、寺泊、小国、南魚沼、新潟、見附、三宅島、尼崎など、次々と広がっているのがフェニックス花火です。

フェニックス花火の魅力は、この花火が普通の花火ではなく、小さな想いがひとつひとつの星になり、その星が集まり、みんなの想いで舞い上がったということ。その姿が不死鳥フェニックスとして舞い上るからこそ見る人に感動を伝えるのです。

「新潟花火王国」と連携し、この花火を復興のブランドとして、多くの人から打上げる街を訪れていただき、街にある他の魅力も感じていただきたい。それは、街に暮らす人々の想いを伝えることによって、さらに充実し、他から人が集まり、ブランドが発展し、復興への好循環を作り出せる事となります。

そして、それこそが、未来を担う子どもたちが、誇りをもって暮せる街を創っていく事につながっていくのだと思っています。

人が人に想いを伝える為の形、それがフェニックス花火です。

また、3・11東日本大震災において、未曾有の被害にあわれた方々を勇気付け、支援したいと考え、本年度実施するすべての事業において「今こそ届けよう！感謝と勇気！」をコンセプト・テーマとした東日本大震災復興支援事業を行うこととし、事業を通して、人と人、地域と地域が、結びつきを育み、いま、この苦難の時こそ、絆を信じて、全国に支援の輪を広げて参りたいと思います。

2005年 ～ 2010年 フェニックス花火打上記録



※ 2010年度ニューフェニックス花火  
15箇所打上：幅2.8km 高さ500m  
総火薬量約1t 2尺玉6発を含む演出  
(長岡まつり大花火大会) 6年目



※ 2009年度スーパーフェニックス花火  
15箇所：幅2.7km 高さ500m  
総火薬量約1t 2尺玉3発を含む演出  
(長岡まつり大花火大会) 5年目



※ 2008年度フェニックス花火  
6箇所打上：幅1.7km 高さ500m  
総火薬量約1t  
(長岡まつり大花火大会) 4年目



※ 2007年度フェニックス花火  
6箇所打上：幅1.7km 高さ500m  
総火薬量約1t  
(長岡まつり大花火大会) 3年目



※ 2006年度フェニックス花火  
10箇所打上 幅1.7km 高さ500m  
総火薬量約1t  
(長岡まつり大花火大会) 2年目



※ 2005年度フェニックス花火  
6箇所打上：幅1.6km 高さ500m  
総火薬量約1t  
(長岡まつり大花火大会) 1年目

# 1. 活 動 概 要

## 1) 「花火打上支援事業」(大イベントを全国へ発信して地域を活性化する)

2005年8月以来、8年間、2004年10月の新潟県中越大地震からの一日も早い復興を祈願し、またご支援頂いた多くの方々への感謝のシンボルとして、「復興祈願花火フェニックス」と題し、世界一として誇れるような壮大な規模の花火を打上げ実現することが出来ました。この花火を復興のシンボルとして、新潟県中越大地震などの自然災害により甚大な被害に遭遇した地域及び住民のために、復興を支援する様々な活動を行い、ネットワークを作り、全国へ向けて伝えることによって、新潟県全体の経済を活気付け、活性化し、観光産業を軸にした、新しいブランドの創設を図り、地域経済の発展に率先して貢献する事を目的とします。そして、本年も昨年同様、被災された地元の方々、企業をはじめとする、全国の皆さんよりご支援いただきながら「長岡まつり花火大会会場」にて「フェニックス9」と称して10回目の節目となる打上げを想定し、新たな企画、取組みにもチャレンジし打上げを実現させたいと思います。また、3・11東日本大震災において、未曾有の被害にあわれた方々を勇気付け、支援したいと考え、「今こそ届けよう！感謝と勇気！」をコンセプト・テーマとした東日本大震災復興支援事業を行うこととし、被災地の花火大会や復興イベントでの打上げを実現させ、「復興祈願花火フェニックス」のネットワークを構築し、日本・世界における復興「ブランド」に育てていきたいと思えます。「復興祈願花火フェニックス」を通して、人と人、地域と地域が、結びつきを育み、いま、この苦難の時こそ、絆を信じて、全国に支援の輪を広げて参りたいと思います。

※ 全長2.8km、総火薬量約1.0t、平原綾香さんのジュピターと共に、3分間に渡って夜空に繰り上げられる光と音のメモリアル花火。日本一の信濃川に舞い上がります。

### ・ *Phoenix* コラボレーション

民間、行政、企業が一体となり「みんなであげよう！フェニックス！」を合言葉に地域の方々、民間団体と共に活動できる連絡会を立ち上げます。その括りの中でたくさんの人と企業が一緒になって協賛金の募集、観覧席チケット販売、フェニックス観覧席の設営、誘客PR、会場の整備や環境対策、おもてなし事業を行い地域の活性化に寄与します。

- ① 長岡まつり協議会 フェニックス部会 事務局業務
- ② フェニックス花火協賛金募集活動及びフェニックス花火の企画
- ③ 長岡まつり花火大会及びフェニックス花火の広報、PR活動
- ④ 東日本大震災被災地の花火大会や復興イベントでの打上げ協力
- ⑤ 東日本大震災被災者の長岡まつり花火大会招待

## 2) フェニックス・ネットワーク事業 (交流により地域を活性化する)

長岡市をはじめ、新潟県の新しい魅力を創造・発信し、交流人口の拡大を図るため、歴史、文化、自然、産業などのさまざまな地域資源を生かした、多様な地域間の交流を推進し、更に地域交流の活性化を図るため、地域の多様な魅力を県内外に発信するため、各地域の方々とのネットワークの一層の充実を図ります。

また、3・11東日本大震災において、未曾有の被害にあわれた方々を勇気付け、支援したいと考え、「今こそ届けよう！感謝と勇気！」をコンセプト・テーマとした東日本大震災復興支援事業を行うこととし、被災地の花火大会や復興イベントでの打上げを実現させ、「復興祈願花火フェニックス」のネットワークを構築し、日本・世界における復興「ブランド」に育てていきたいと思えます。「復興祈願花火フェニックス」を通して、人と人、地域と地域が、結びつきを育み、いま、この苦難の時こそ、絆を信じて、全国に支援の輪を広げて参りたいと思えます。

長岡市内の合併地域をはじめ、県内の各地域との地域間交流および地域内交流の拠点として大手通「情報交流館まちこい」(NPO事務局)やまちかどフェニックス大型LEDビジョンを設置し、そのネットワーク化を推進します。観光、芸能文化、スポーツ、産業などそれぞれのまちづくりを支援し、相互のネットワークを強化し、人々の交流や地域の情報の発信力を高めます。

今後、都市間競争が本格化する中、明確な個性や強みを打ち出せない地域は埋没することも予想されます。長岡市内の合併地域をはじめ、県内の各地域の魅力や多様な地域資源を一体(ネットワーク)となって広く発信(シティプロモーション)し、各地域の都市ブランドを一層高められるよう事業を推進します。

### ①復興・地域活性化を祈願する各地での花火打上事業

本年度打上予定：見附、石巻、寺泊、新潟

昨年実績：見附、石巻、小国、寺泊、新潟、下関、

各地 主管団体：フェニックス見附、フェニックス寺泊

フェニックス新潟(みんなの花火打上実行委員会)



新潟エボリューション

寺泊海上フェニックス

### ②東日本大震災復興支援事業

長岡市内、新潟県内および被災地で避難生活を余儀なくされている方々を

8月2日、3日の長岡まつり大花火大会にお招きし、長岡の誇る「長岡花火」をご覧ください。中越大震災を経験し、2度の戦争からの復興を成し遂げた我々、長岡人の復興への思い、全国の皆様から支援いただいた感謝の気持ち、長岡花火に込められた戦災復興と慰霊、鎮魂の思いを被災された方々に感じとっていただき復興への希望、勇気を届けたいと思えます。

### ③地域間交流とネットワーク化の推進事業

長岡市内の合併地域をはじめ、県内の各地域で活動するNPOや市民活動団体と連携・交流を図り、観光、芸能文化、スポーツ、産業などそれぞれのまちづくりを支援し、相互のネットワークを強化し、人々の交流や地域の情報の発信力を高めます。

長岡市内の合併地域をはじめ、県内の各地域の魅力や多様な地域資源を一体（ネットワーク）となって広く発信（シティプロモーション）し、各地域の都市ブランドを一層高められるよう事業を推進します。

- ・NPO法人キズナの森との交流・連携

## 3) プロジェクト事業 (人材・食により地域を活性化する)

復興支援の為に様々な団体（個人）と連携して、相乗効果を得られる事業を行います。

復興ブランド「フェニックス」を確立する為に、花火以外で地域に密着した活動を行います。

また、3・11東日本大震災において、未曾有の被害にあわれた方々を勇気付け、支援したいと考え、「今こそ届けよう！感謝と勇気！」をコンセプト・テーマとした東日本大震災復興支援事業を行うこととし、これまで行ってきた復興支援事業や地域活性化事業を通して、人と人、地域と地域が、結びつきを育み、いま、この苦難の時こそ、絆を信じて、全国に支援の輪を広げて参りたいと思います。

### ① 街頭募金、フェニックス観覧席設営などによるボランティア育成活動

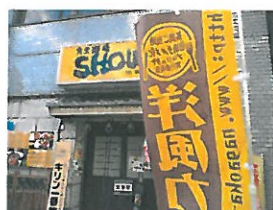
長岡青年会議所の皆様をはじめ、NPO 法人国際ボランティア学生協会の学生ボランティアの皆さんによって行っている7月の毎週末に行われるフェニックス花火の街頭募金活動や8/2/3 長岡まつり大花火大会フェニックス観覧席での設営活動。活動を通じて社会・地域に貢献できる人材を育成します。



### ② 長岡発「食」プロジェクト

長岡のご当地グルメメニューの掘り起こし、マップを製作し地域内外への情報発信。

2009年より展開してきた「洋風かつ丼」PRの継続と新規特産、名産品の開拓、開発PR活動を実施。また、3・11東日本大震災において、未曾有の被害にあわれた方々を勇気付け、支援したいと考え、「今こそ届けよう！感謝と勇気！」をコンセプト・テーマとした東日本大震災復興支援事業を行うこととし、これまで行ってきた「食」による地域活性化事業を通して、人と人、地域と地域が、結びつきを育み、いま、この苦難の時こそ、絆を信じて、全国に支援の輪を広げて参りたいと思います。



①



②



③

① 内飲食店での洋風かつ丼キャンペーン展開

② JRA新潟競馬場での県内かつ丼対決

③ 伝統会津ソースかつ丼の会との連携・協力による被災地支援

### ③ 民協働による活力あるまちづくり事業

地域社会が抱える課題は、近年ますます複雑・多様化し、従来の行政サービスだけでは十分に対応できないケースが増加しています。地域の課題を解決するには、市民自らが組織したNPOや地域活動団体などの活動が重要となってきています。市民活動と行政が対等な立場でそれぞれの役割を明確にしながら、協力・連携する「市民協働」によるまちづくりを推進してまいります。

- ・協働を担う人材の育成
- ・市民力・地域力の活用と市民活動の促進
- ・アオーレ長岡を活用した事業

## 4) 中心市街地活性化事業 (社会資本整備総合交付金事業：まちなか賑わい創出事業)

### ①まちなか情報発信事業

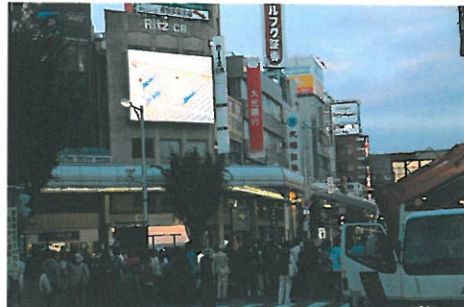
大手通の「まちこい」(NPO事務局)から地域の情報の収集と発信を行います。

ビル壁面の大型LEDビジョン、1階の情報交流館にて展開していきます。

東日本大震災に伴う電力不足による節電対策にも取り組みます。

長岡まつりやホコ天など大手通りや中心市街地でのイベントなどで活用を検討します。

本年度は一昨年8月にて閉館した「まちなか花火ミュージアム」の運営を継続すべき、長岡市大手通り情報交流館「まちこい」2階「長岡花火ミュージアム」の運営を行い、沢山のの人々に花火の魅力を伝え広報、宣伝を行います。



<石巻フェニックスやハワイホノルル花火打ち上げライブ中継>



<各大手通イベント時の様々なPR活動や販売場所の提供>



<情報交流館「まちこい」や長岡花火ミュージアムでの様々な情報発信>

## ② 情報プラットフォーム事業

ながおか情報コミュニティー「まちこい」の製作、運用（ホームページ、SNS）一つのイベントであっても主催団体、周辺商店街、大型ショッピングセンター、観光協会、市役所の各課など別々のチラシが飛び交い情報も氾濫している現状があります。またその情報も発信者から限られた一部の受信者への縦の一方通行の流れしかありません。そこで「情報のプラットフォーム」を構築し情報を集約し発信します。発信者と発信者、利用者と利用者、利用者から発信者など横や斜めの情報の流れを作り出します。

- 1) ホームページの製作（コミュニティーサイト、SNS併用）
- 2) チラシ、パンフレットの集積、電子化及び発信
- 3) 上記を利用した情報収集システムの確立と運用の実施
- 4) 長岡賑わい創出に関わるバックアップ体制、相談窓口の設置

## 5) エンタープライズ事業（地域独自の商品開発、販売事業により経済を活性化する）

復興支援及びフェニックスプロジェクト関連商品を企画・開発・販売し、収益をフェニックス花火打上費用として長岡まつり協議会へ協賛すると共に自主事業に充当いたします。

- ① 「まちこい」での販売
- ② フェニックスブランド商品の開発、販売
- ③ フェニックス画像、映像使用商品の開発、販売（カレンダー・DVD発売中）
- ④ フェニックス自販機事業（協力：キリンビバレッジ）
- ⑤ 花火協賛シール製作・販売

## 6) 委託運営・ソリューションサービス事業

市民、行政、企業が求めるサービス・事業が多様化する中、さまざまな業務上の問題点の解決や要求の実現を行うための委託事業の受託やより効果的なシステム開発・構築を行います。多様化するニーズによる「新しい公共」のサービスを提供し、市民協働の礎となる活動を行います。

- ① 長岡まつり協議会HP委託運営事業
- ② 長岡まつりオフィシャルガイドブックの発行
- ③ 長岡まつり花火会場有料自由席・当日券の委託販売業務
- ④ 長岡まつり花火大会駐車場情報提供業務
- ⑤ 長岡まつり花火大会 フェニックス観覧席設営業務
- ⑥ 越後長岡NAVI運営委託事業
- ⑦ 長岡まつり記録アーカイブ
- ⑧ 長岡まつり安全対策業務